

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 月曜・2校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	化学の基礎(生活化学) Introduction to Chemistry (Chemistry in Our Life)		
対象年次 全学年	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学年	科目分類 自然科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 飯島美夏 /Eメールアドレス: m-ijima@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 教育学部 飯島研究室 /TEL: 095-819-2371 /オフィスアワー: 水曜日 10:30 - 12:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 化学、特に高分子化学の基礎的な事項についての知識と理解度を高めるとともに、私達の日常生活の様々な場面で活躍している物質や現象を取り上げ、その物質や現象についての基本的なしくみについて説明できるようになることを目指す。 授業方法: 教科書、必要に応じて配布する資料を用いた解説、またプロジェクターによるプレゼンテーションを行なう。また、授業中に適宜課題を課す。 授業到達目標: 高分子の性質、高分子の構造、高分子の合成法の基礎的な事項について説明できるようにする。また、ゴム、繊維、プラスチック、生体高分子、機能性高分子など日常生活に身近な高分子物質の種類、しくみなどについて説明できるようにする。化学に関する基礎的な計算ができるようにする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 日常生活の中で出会う物質、特に高分子物質について講義する。高分子化学の基礎を理解するため、高分子の性質、構造、合成に関する知識を増すとともに、材料としての高分子についての理解を高める。さらに、環境と高分子の関係についての知識も高める。授業中に適宜課題を課すことにより、理解力などを高めるよう図る。 第1回: オリエンテーションとイントロダクション 第2回: 身のまわりの高分子 第3回: 高分子の性質(1) 第4回: 高分子の性質(2) 第5回: 高分子の特殊な性質 第6回: 高分子の構成 第7回: 高分子の構造 第8回: 高分子の合成(1) 第9回: 高分子の合成(2) 第10回: 材料としての高分子(1) 第11回: 材料としての高分子(2) 第12回: 機能する構文糸 第13回: 環境と高分子(1) 第14回: 環境と高分子(2) 第15回: まとめ(試験含む)			
キーワード	高分子、生活化学		
教科書・教材・参考書	教科書:「わかる化学シリーズ7 高分子化学」齋藤勝裕・渥美みはる著(東京化学同人) 参考書:「化学ってそういうこと! 夢が広がる分子の世界」日本化学会編(化学同人)		
成績評価の方法・基準等	授業到達目標に掲げた内容について、授業中に適宜課題を課し、まとめとして定期考査を行って評価する。評価割合は、○定期考査70%、授業中の課題の内容30%とし、総合点で評価する。合格基準は、定期考査60%以上で、かつ、総合点で60%以上とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	高校の化学教科書の有機化学、高分子に関する項を読んでおくことが望ましい。		